

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくら一む新琴似		
○保護者評価実施期間	令和6年 9月 15日		～ 令和6年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和6年 9月 15日		～ 令和6年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	さくら一むの通所を楽しみにしている児童の割合が多く、保護者様からも高く評価していただいたこと。	利用児それぞれの発達に合わせた関わりや、集団と個別を合わせた活動プログラムを設定している。	今後も引き続き、児童が楽しみに出来るような活動を取り入れながら、発達に合わせた支援を行う。
2	療育経験年数が5年以上の職員が多く在籍しており、専門性が高い。	職員同士の日々のコミュニケーションをしっかりと取る事で、離職の少ない働きやすい職場環境を整える事を心掛けている。	今後も引き続き、職員との連携をとり経験豊富な職員を配置し、療育の専門性をより高めていく。
3	参観日、茶話会(保護者会)の実施	働いている保護者さんが出席しやすいように、参観週間として、期間を設けて実施しています。今年度は、振替え休日にも実施し、父親、祖母の方も参観していただいた。	来年度は、ミニ発表会なども実施する予定で、日頃の活動の成果や、児童の成長した姿をお見せしたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが限られている為、体を動かす活動の工夫が必要な事がある。	建物の構造上、部屋数やスペースが限られている。	出来るだけスペースを有効活用し工夫しています。スペースを広く使わない活動内容や、外での活動も多く取り入れていく。
2	お便りやマニュアル、訓練について保護者様の理解がまだ不十分	契約時の説明が不十分だった。	契約時の説明をさらに詳しく、時間をかけて行っていく。
3	地域外部との交流など外部へ向けての活動を行っていない。	初めての場所や人に対して苦手な子が多く、活動が難しいことがある。	今後は、児童の発達を考慮した上で、参加可能な機会があれば参加出来るようにしていきたい。